

2022年5月9日

報道関係者各位

神奈川中央交通株式会社
慶應義塾大学 SFC 研究所

新技術の研究開発などオープンイノベーションによる取り組みを推進！
慶應義塾大学 SFC 循環シャトルバスを自動運転バスにより運行開始
 ～公道部分を含む定常運行により自動運転レベルの向上を目指します～

神奈川中央交通株式会社（本社：神奈川県平塚市、取締役社長：堀 康紀）と慶應義塾大学 SFC 研究所（神奈川県藤沢市、所長：飯盛 義徳）は、昨年より、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）循環シャトルバス「鴨池急行 SoKanKan」（以下、本運行という。）の自動運転化に向けた共同研究に取り組んでおり、2022年5月12日から自動運転バスによる運行を開始します。

本運行は、2019年より神奈川中央交通が運行を受託しているもので、今般の共同研究によって神奈川中央交通所有の車両に SFC 研究所の自動運転技術を組み込み、自動運転レベル 2（部分運転自動化）での運行を開始します。今後、長期間にわたり定常運行を続ける中で、オープンイノベーションにより、様々な研究者や学生、企業の技術やアイデアを活用し、2025年度に自動運転レベル 4（高度運転自動化）での運行を目指すとともに、日々の運行を通じて得られた安全面・旅客サービス面の知見や実績を活かし、将来的には神奈川中央交通の一般路線への自動運転バス導入を目指します。

■運行概要

【運行日】

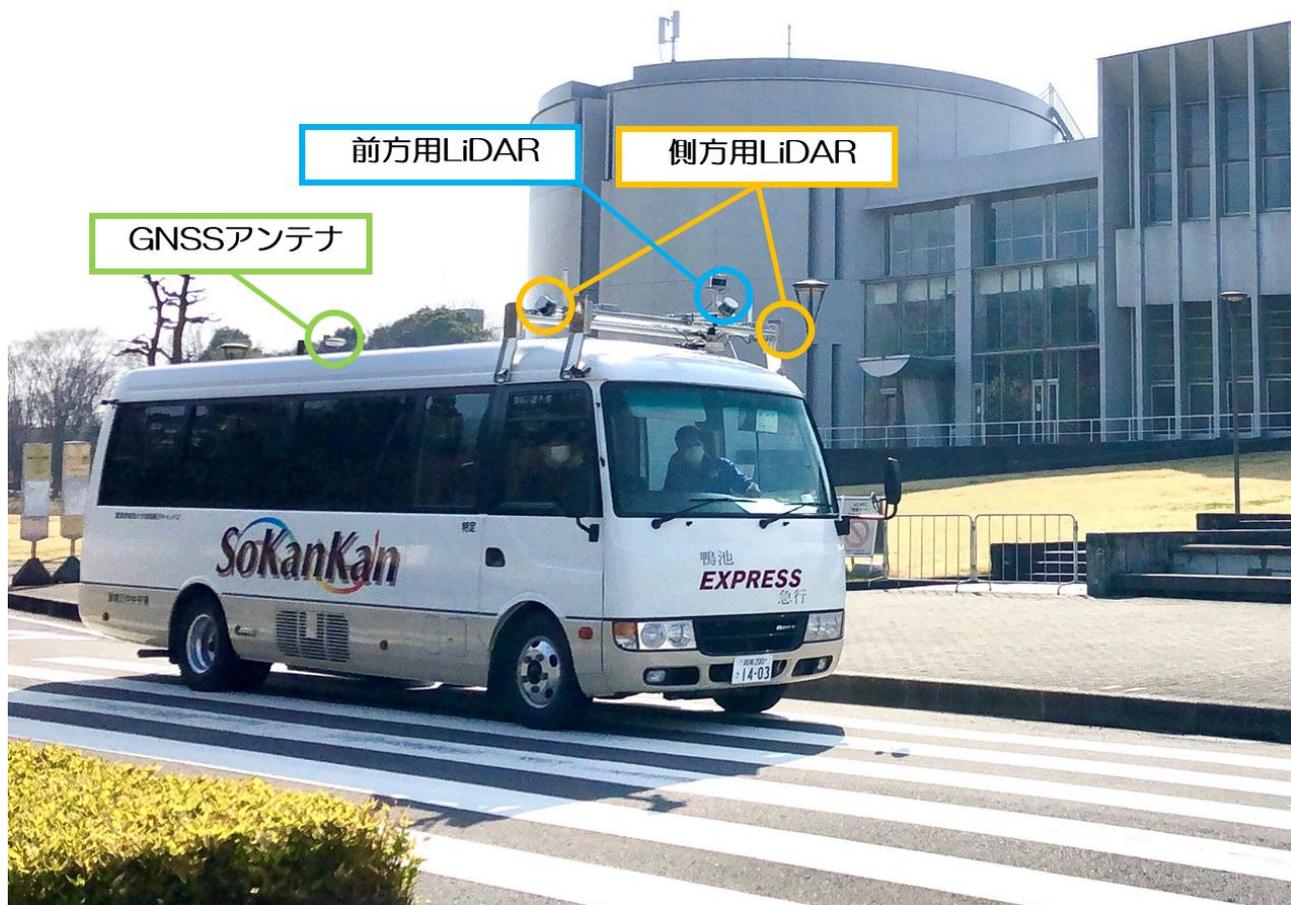
- ・2022年5月12日（木）～
 - ・シャトルバスの運行は春／秋学期中の平日です。
 - ・運行時間帯は 10:30～18:30 です。
 - ・車両運用の都合により別車両（完全手動運転車）にて運行することがあります。
- ※学校関係者以外の方は原則、ご乗車できません。

【運行区間】

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス看護医療学部発着の循環線
約 2.2km（公道 0.9km、大学構内 1.3km）



【運行車両】



使用車両	三菱ふそうトラック・バス株式会社 ローザ
車両スペック	サイズ：マイクロバス（全長 6990mm×全幅 2010mm） 定員：26名（運転士1名、乗客25名）
車線維持	<ul style="list-style-type: none"> GNSS、LiDARによるマップマッチングにより自己位置を推定 高精度地図の車線情報と自己位置情報から所定の経路の車線を維持
速度制御	<ul style="list-style-type: none"> 設定された上限速度の範囲で、走路の曲率や勾配、障害物、前走車の有無などにより、アクセル、ブレーキを調整し、速度を制御する
障害物検知	<ul style="list-style-type: none"> LiDARによる歩行者等の障害物検知を行い、衝突回避のためブレーキ制御を行う

【関係リリース】

- 2021年8月17日 神奈川中央交通と慶應義塾大学 SFC 研究所がキャンパス循環シャトルバスの自動運転化に向けた共同研究を開始

<https://www.kanachu.co.jp/news/pdf01/somu/2021/08.17release.pdf>